

平成28年度西粟倉村 一般会計及び特別会計歳入歳出決算等について

一 般 会 計

(単位：千円)

		平成27年度	平成28年度	前年比較
決 算 額	歳入総額	2,255,329	2,772,193	516,864
	歳出総額	2,077,021	2,630,314	553,293
	差引額	178,308	141,879	△ 36,429

1.財政収支

ア. 決算収支

(単位：千円)

会計別	平成27年度			平成28年度		
	一般会計	特別会計	計	一般会計	特別会計	計
形式収支	178,308	40,173	218,481	141,879	41,548	183,427
繰越明許費	13,399	0	13,399	70,484	0	70,484
実質収支	164,909	40,173	205,082	71,395	41,548	112,943
前年度実質収支	139,921	36,160	176,081	164,909	40,173	205,082
単年度収支	24,988	4,013	29,001	△93,514	1,375	△92,139

平成28年度の形式収支は、一般会計は141,879千円、特別会計は41,548千円となっていますが、本年度実質収支額から前年度実質収支額を排除した単年度収支は、両会計あわせて△92,139千円となっています。

イ. 予算執行の状況について (一般会計)

<歳入決算の状況>

(単位：千円)

	予算現額	調定額	収入済額	予算現額と収入済額との比較	予算対比	調定対比
平成27年度	2,443,192	2,256,808	2,255,329	△ 187,863	92.3%	99.9%
平成28年度	3,141,578	2,773,439	2,772,193	△ 369,385	88.2%	100.0%
増 減	698,386	516,631	516,864	△ 181,522	—	—

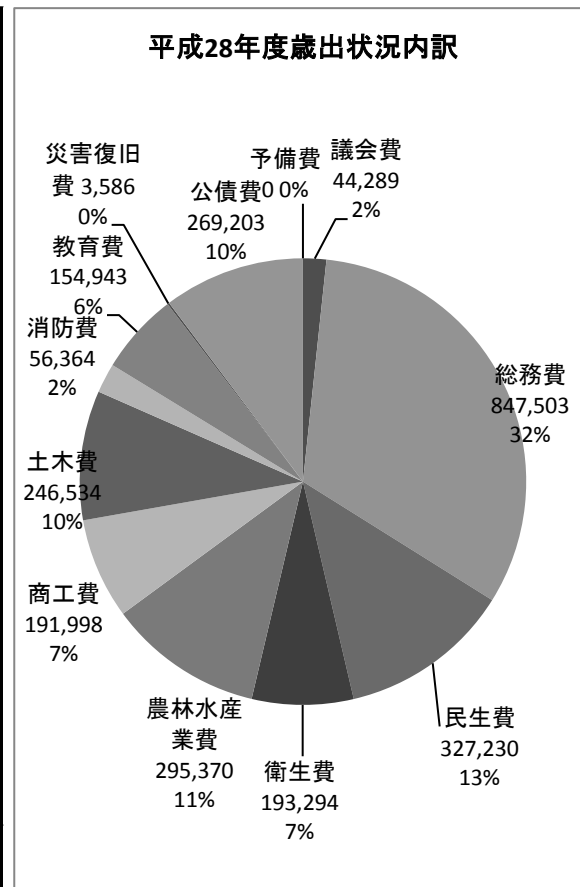
<歳出決算の状況>

(単位：千円 %)

	予算現額	支出済額	繰越明許費繰越額	不用額	執行率
平成27年度	2,443,192	2,077,021	212,358	153,813	85.0
平成28年度	3,141,578	2,630,314	435,122	76,142	83.7
増 減	698,386	553,293	222,764	△ 77,671	—

ウ. 款別歳出状況 (単位：千円)

科目	平成27年度	平成28年度	前年比
議会費	47,688	44,289	92.9%
総務費	469,682	847,503	180.4%
民生費	338,811	327,230	96.6%
衛生費	127,728	193,294	151.3%
農林水産業費	357,840	295,370	82.5%
商工費	133,210	191,998	144.1%
土木費	90,178	246,534	273.4%
消防費	43,664	56,364	129.1%
教育費	161,023	154,943	96.2%
災害復旧費	610	3,586	587.9%
公債費	306,587	269,203	87.8%
予備費	0	0	-
合計	2,077,021	2,630,314	126.6%



2. 財政構造について

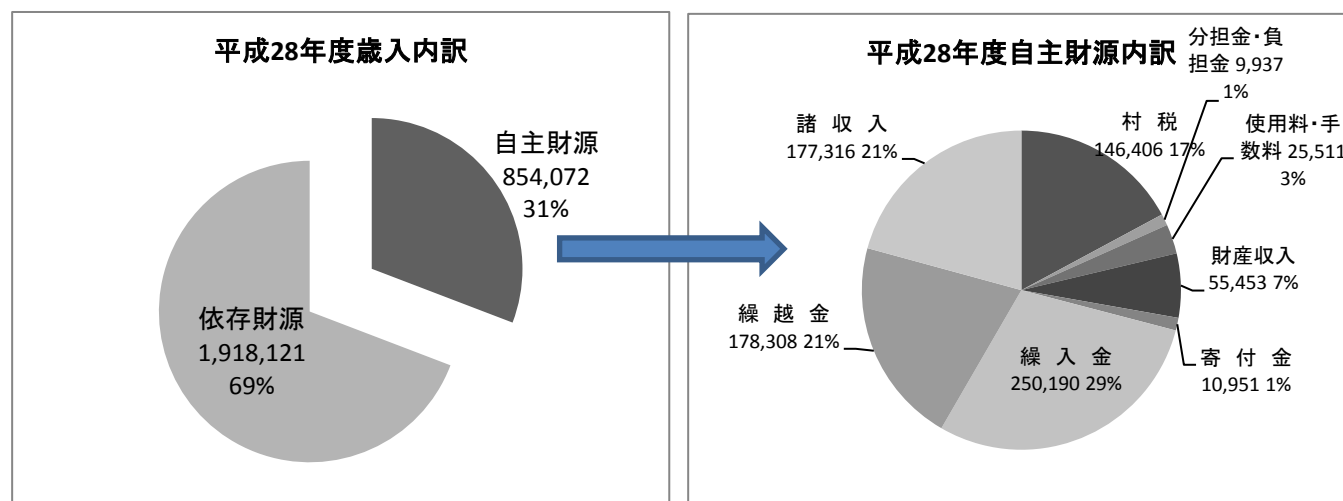
① 歳入の構造

ア. 財源別構成比

(単位：千円)

	歳入総額	自主財源	構成比	依存財源	構成比	村債	構成比
平成27年度	2,255,329	535,367	24%	1,719,962	76%	198,143	9%
平成28年度	2,772,193	854,072	31%	1,918,121	69%	258,295	9%

備考 依存財源の金額の中に村債の金額を含む。



イ. 自主財源の主な内容

(単位：千円)

	平成27年度	平成28年度	増減	前年対比
村税	137,638	146,406	8,768	106.4%
分担金・負担金	7,305	9,937	2,632	136.0%
使用料・手数料	25,395	25,511	116	100.5%
財産収入	40,107	55,453	15,346	138.3%
寄付金	2,639	10,951	8,312	415.0%
繰入金	38,435	250,190	211,755	650.9%
繰越金	165,467	178,308	12,841	107.8%
諸収入	118,381	177,316	58,935	149.8%
合計	535,367	854,072	318,705	159.5%

ウ. 村税の内訳

(単位：千円)

	平成27年度	平成28年度	増減額
村民税	46,504	54,572	8,068
固定資産税	75,332	75,709	377
軽自動車税	4,431	5,452	1,021
たばこ税	4,460	3,891	△569
入湯税	6,911	6,782	△129
合計	137,638	146,406	8,768

エ. 収入未済額について<平成28年度末の滞納状況>

(単位：円)

	現年分	滞納繰越分	合計
村税個人	434,321	99,456	533,777
固定資産税	253,295	275,700	528,995
軽自動車税	42,500	53,200	95,700
合計	730,116	428,356	1,158,472

対前年 85.8%

オ. 地方交付税の推移

(単位：千円)

	平成27年度	平成28年度
金額	1,124,099	1,140,795
歳入に占める構成比	49.8%	41.2%

※地方自治体のサービスの水準を一定に保つため、国から交付される交付税

カ. 村債の推移

(単位：千円)

	平成27年度	平成28年度
金額	198,143	258,295
歳入に占める構成比	8.8%	9.3%

※施設の建設や土木工事など、多額の費用を必要とするときに、国等から借り入れる資金（借金）

②歳出の構成

ア. 性質別経費の状況

(単位：千円 %)

	平成27年度	構成比	平成28年度	構成比
人件費	309,529	14.9	305,990	11.6
扶助費	110,509	5.3	107,265	4.1
公債費	306,587	14.8	269,204	10.2
物件費	424,101	20.4	515,949	19.6
維持補修費	20,402	1	20,065	0.8
補助費等	219,662	10.6	219,981	8.4
建設事業費	275,530	13.3	544,104	20.7
積立金	194,753	9.4	446,505	17
投資及び出資金	0	0	0	0
繰出金	215,338	10.4	197,665	7.5
災害復旧事業費	610	0	3,586	0.1
合計	2,077,021	100	2,630,314	100

イ. 繰出金の状況

(単位：千円)

繰出先	平成27年度	平成28年度	備考
国保会計	26,237	22,875	
直診会計	9,400	7,300	
後期高齢者会計	9,075	7,674	
介護保険会計	40,706	38,950	
介護サービス会計	0	0	
簡易水道会計	39,891	37,117	
農業集落排水会計	53,936	41,986	
観光事業会計	4,496	0	H27年度廃止
森林会計	31,597	41,763	
合計	215,338	197,665	

ウ. 人件費の内訳について

(単位：千円)

	平成27年度	平成28年度	前年比
議会費	46,291	42,952	92.8%
総務費	86,146	98,880	114.8%
民生費	39,715	42,021	105.8%
衛生費	276	378	137.0%
農林水産業費	38,292	33,559	87.6%
商工費	14,360	14,847	103.4%
土木費	19,030	19,160	100.7%
消防費	1,520	1,555	102.3%
教育費	63,899	52,638	82.4%
合 計	309,529	305,990	98.9%

エ. 基金の状況について

(単位：千円)

	27年度 末現在高	28年度 積立額	28年度 取崩額	28年度 末現在高
一般会計分	1,148,703	472,165	194,036	1,426,832
特別会計分	276,613	2,094	77,403	201,304
合 計	1,425,316	474,259	271,439	1,628,136
国債等 1,396,150千円	J A 定期 0千円		(H29.3.31現在)	
	J A 普通 231,986千円			

※基金とは、将来に備えお金を積み立てる貯金のことを言います。

オ. 補助金、助成金等（主な助成金）

(単位：千円)

	平成27年度	平成28年度
社会福祉協議会	3,293	3,400
有害鳥獣駆除助成	6,186	6,188
キャリ一道設置助成	500	0
商工会助成金	3,000	3,000
指定管理者委託金	62,269	64,391
文化協会助成	200	200
体育協会助成	300	300
スポ少助成	271	297
高等学校就学支援金	7,680	6,240
合 計	83,699	84,016

カ. 起債の残高と公共用地賃借料等の状況

(単位：千円)

	平成27年度末	平成28年度末	増減額
一般会計	2,138,427	2,139,579	1,152
簡易水道会計	332,585	358,402	25,817
農業集落排水会計	252,552	259,731	7,179
起債合計	2,723,564	2,757,712	34,148
公共用地賃借料	3,143	3,532	389

※起債とは、施設の建設や土木工事など多額の費用を国等から借り入れることを言います。

3.財政構造の弾力性

財政力の動向、財政構造の弾力性を判断する主要財務比率の年度別推移は次のとおりとなっている。

	平成27年度	平成28年度	前年比較
財政力指数	0.130	0.130	0
経常収支比率	88.6	87.2	△ 1.4
実質公債費比率	9.1	8.6	△ 0.5
将来負担比率	△ 46.7	△ 44.6	2.1
標準財政規模	1,164,922	1,150,494	△ 14,428

健全化判断比率

(単位：%)

比率の名称	健全化判断比率	早期健全化判断比率
実質赤字比率	-	(15.00)
連結実質赤字比率	-	(20.00)
実質公債費比率	8.6	(25.0)
将来負担比率	△ 44.6	(350.0)

※ 早期健全化判断比率の () 数値は、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に規定された基準です。

資金不足比率

(単位：%)

特別会計の名称	資金不足比率
西粟倉村簡易水道事業特別会計	—
西粟倉村農業集落排水事業特別会計	—

【監査委員意見】（総括決算審査意見）

- (1) 平成28年度一般会計及び特別会計の決算書（歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書）並びに出納室所管の歳入歳出簿等の関係帳簿と照合した結果、いずれも決算計数に相違ないことを確認しました。
- (2) 決算計数は、各課、委員会所管の証書類と、出納室所管の歳入歳出簿及び証書類を抽出して、比較照合した限りにおいて計数はいずれも符合していた事を認めます。
- (3) 平成28年度決算収支を見ますと、一般会計においては歳入歳出差引額141,879千円の余剰金を生んでいます。一般会計の実質収支は71,395千円、単年度収支△93,514千円となっています。特別会計の実質収支は41,548千円、単年度収支は1,375千円であります。両会計合わせた単年度収支は△92,139千円となっています。基金の平成28年度末積立額は、一般・特別両会計合わせ1,628,136千円となっており、この一年間で202,820千円増額しています。
なお、基金はすべて預金され証書、通帳を確認した結果相違ないことを認めます。

（総務企画課）

景気の動向は緩やかに持ち直していると言われてはいますが、地方創生の名の下に各種施策に財源が集中する一方で、基本施策の補助事業の補助割合は縮減されており、国の財政政策の動向による今後の地方財政への影響は不透明な状況にあります。基幹施設整備も本格化し、第5次西粟倉村総合振興計画の財政シミュレーションに基づき、毎年度の事業の適正な予算管理と事業評価に基づいた進捗管理を徹底するなど引き続き行財政改革を行っていただき、計画的で健全な行財政運営に取り組んで頂きたいと思っております。

（産業観光課）

百年の森林構想は、環境モデル都市など様々な取組に広がってきており、本格化する基幹施設整備に関連した木材需要の増加への対応、関係者との連携も重要となってくるところです。取組の内容等についてさらに理解が得られるよう、村民へ丁寧な説明、周知に取り組んでいただきたいと思います。

観光関連では、あわくらグリーンリゾート管理費が、村の財政を大きく圧迫している状況が続いています。あわくらグリーンリゾートが委託を行っている株式会社共立メンテナンスの運営も、本年度で契約の終了を迎えることもあり、今後村の財政負担軽減に向けて十分検討の上、早急に抜本的な改革に取り組んでいただきたいと思います。

（建設課）

小水力発電事業については、村の重要な収入源となっているので、発電量の維持に向けて、今後も適切に管理していただきたいと思います。

道路関連では、補助金等が減少傾向にあり、厳しい財政状況ではありますが、村道は住民の重要なインフラであり、林道は百年の森林事業を支える基盤であるので、今後も計画的な維持管理に努めていただき、適切な予算執行を望みます。

（保健福祉課）

保健福祉課の業務は継続的な人とのかわりなど、決算では見えにくいものがほとんどです。引き続き専門職員不足の解消にも努めていただきたいと思います。限られた人員ではありますが、福祉事務所も含め、今後も住民の健康保持と、福祉向上のため丁寧な業務の推進が図られるよう、更なる努力を望みます。

（教育委員会）

西粟倉らしいきめ細やかな対応ができるよう、引き続き人的配置に出来る限り配慮し、さらに特色ある教育行政の充実が図られることを望みます。また学校の他所管建物等老朽化が心配されているため、計画的な施設の維持管理に努めていただきたいと思います。

特別会計

国民健康保険事業勘定特別会計

ア 決算額 (単位：円)

	平成27年度	平成28年度	前年比
予算現額	239,598,000	234,185,000	98%
歳入総額	244,779,091	235,555,783	96%
歳出総額	218,652,733	216,097,114	99%
差引額	26,126,358	19,458,669	74%

【監査委員意見】 (総括決算審査意見)

- ・平成28年度の年度末被保険者数は383人であり、27年度から19人の増であります。ローカルベンチャー関連事業のIターン者の増が要因の一つと考えられます。
- ・保険給付費は112,094千円となっており、27年度に比べ8,729千円の増であります。年々増加傾向にあるため、さらなる医療費の抑制対策が必要であると思います。
- ・国保税の収納額は前年度比2,804千円であります。所得割額の増加が大きな要因ですが、前年度の所得額がとりわけ少なかったことから例年並といえます。
- ・前期高齢者交付金については、前年度に比べ24,337千円の減少となっています。これは、前年度の交付金が多額であったためです。
- ・国保税収納率は近年で最も高くなっており、徴税の取り組みの成果が現れています。また、納税意識の向上がはかられています。

国民健康保険施設勘定特別会計

ア 決算額 (単位：円)

	平成27年度	平成28年度	前年比
予算現額	72,566,000	65,095,000	90%
歳入総額	70,640,014	62,250,381	88%
歳出総額	70,587,490	61,625,131	87%
差引額	52,524	625,250	1190%

イ 診療者数 (単位：人)

	診療者総数	小児科	整形外科	皮膚科
平成27年度	4,586	264	115	
平成28年度	4,629	255	114	134

【監査委員意見】 (総括決算審査意見)

- ・患者来院数は27年度に比べ増加していますが、高い点数の診療数が減少しているため、診療収入は前年度比5,175千円減少しています。
- ・28年度はデジタル画像診断装置を購入しています。県からの補助金があり県支出金が増加しています。

後期高齢者医療事業勘定特別会計

ア 決算額

(単位：円)

	平成27年度	平成28年度	前年比
予算現額	20,431,000	19,732,000	97%
歳入総額	20,403,934	19,666,142	96%
歳出総額	20,395,534	19,654,842	96%
差引額	8,400	11,300	135%

【監査委員意見】 (総括決算審査意見)

- ・平成28年度西栗倉村の後期高齢者数は平成29年3月31日現在322人で、年齢到達者に比べ、死亡者数が上回ったことにより減少しました。今後も人口推計から横ばいもしくは減少が続くと予想されます。
- ・保険料収納率については、普通徴収、特別徴収とも100%となっています。
- ・西栗倉村は制度創設前、一人当たりの医療費が他市町村に比べ低かったため、保険料が平成20年度から25年度までの6年間軽減されていましたが、平成26年度からは県内市町村と同額、同率となっています。

介護保険事業勘定特別会計

ア 決算額

(単位：円)

	平成27年度	平成28年度	前年比
予算現額	232,739,000	241,750,000	104%
歳入総額	229,302,252	240,802,928	105%
歳出総額	224,922,390	231,824,226	103%
差引額	4,379,862	8,978,702	205%

イ 介護保険事業の概要

サービス受給者の推移

(単位：人)

区分	居宅	施設	合計
平成27年4月	80	26	106
平成28年4月	88	25	113

ウ 介護給付費支出の状況

(単位：千円)

区分	居宅分	施設分	合計
給付費総額 (27年度)	110,733	91,217	201,950
	54.8%	45.2%	-
給付費総額 (28年度)	102,160	110,086	212,246
	48.1%	51.9%	-

65歳以上人口	高齢者1人当たり費用 (単位：円)
給付費総額(27年度) / 540人(65才以上)	373,981
給付費総額(28年度) / 528人(65才以上)	401,981

【監査委員意見】 (総括決算審査意見)

- ・介護保険第1号被保険者(65歳以上)、要介護(支援)認定者数とも前年度に比べ減少しました。後期高齢者(75歳以上)はほぼ横ばい状態で、今後は減少していくと推測されます。
- ・サービス受給者のうち施設サービスを受ける割合が増えており、今後も増加すると予測されます。施設入所者の増加により給付費が増加し、介護保険料の負担も増加します。給付費抑制の対策が必要であり、早急な検討が必要と感じています。

介護サービス事業勘定特別会計

ア 決算額 (単位：円)

	平成27年度	平成28年度	前年比
予算現額	12,896,000	16,293,000	126%
歳入総額	13,407,577	16,249,286	121%
歳出総額	4,084,171	4,075,428	100%
差引額	9,323,406	12,173,858	131%

【監査委員意見】 (総括決算審査意見)

- ・この会計は、居宅介護支援事業所及び居宅介護予防支援事業所に係る会計で、歳入は、サービス計画費、歳出は、ケアマネージャーの人件費が主な内容となっています。

簡易水道事業特別会計

ア 決算額 (単位：円)

	平成27年度	平成28年度	前年比
予算現額	102,817,000	164,654,000	160%
歳入総額	92,248,840	158,529,493	172%
歳出総額	92,098,613	158,429,493	172%
差引額	150,227	100,000	67%

【監査委員意見】 (総括決算審査意見)

- ・給水人口は減っていますが使用水量が増加したため料金収入が増収になっています。
- ・水道事業費は、建設改良事業(中央浄水場ろ過機更新工事、中央浄水場配水管路敷設替工事、新中土居住宅給排水設備工事)により大幅に増加しています。

農業集落排水事業特別会計

ア 決算額 (単位：円)

	平成27年度	平成28年度	前年比
予算現額	145,004,000	138,618,000	96%
歳入総額	143,228,439	129,795,506	91%
歳出総額	143,096,567	129,695,506	91%
差引額	131,872	100,000	76%

【監査委員意見】 (総括決算審査意見)

- ・28年度は事業所の従業員の増加により、使用料が増加しました。
- ・農業集落排水事業（機能強化対策）の事業量の減少により、県補助金の収入が減少しました。
- ・歳出について、施設の更新事業が大幅に減少したため、農業集落排水事業費が減少しています。

森林管理事業特別会計

ア 決算額 (単位：円)

	平成27年度	平成28年度	前年比
予算現額	108,026,000	100,245,000	93%
歳入総額	106,578,260	99,820,119	94%
歳出総額	106,578,260	99,720,119	94%
差引額	0	100,000	-

【監査委員意見】 (総括決算審査意見)

- ・この会計は、100年の森林づくり事業における歳入と、それに伴う歳出の内容を明らかにするための会計で、西粟倉村が当該事業を実施するものです。
- ・国庫補助金、林産物売払収入及び一般会計からの繰入金で森林国営保険、収益分配金（山主返還分）及び当該事業に係る経費等の管理を行う会計であり28年度は林産物売払収入、収益分配金の減少及び森林整備加速化林業再生事業等の減少により歳入、歳出とも減少しました。